

令和4年4月28日  
教育委員会企画調整課

## 小森江西小学校・小森江東小学校の学校統合について

### 1 統合後の校舎位置について

令和4年3月18日（金）に開催した、第13回統合準備委員会において、小森江東小学校に決定した。

### 2 今後の予定について

令和5年4月の統合に向けて、条例改正等の必要な手続きを行う。



## 小森江西小学校・小森江東小学校の学校統合における 校舎位置について

### 1 統合後の校舎位置について

小森江西小学校と小森江東小学校の統合後の校舎位置は、小森江東小学校とする。

### 2 選定理由

統合後の校舎位置の選定に当たっては、主に統合準備委員会で論点となった「緊急時に関すること」「通学に関すること」「施設に関すること」「学習に関すること」「防災・安全等に関すること」の5つの項目を総合的に判断した。

#### 【5項目ごとの評価結果】

##### （1）緊急時に関すること

- ◆警察・消防署、病院等の緊急施設までの状況については、両校とも大きな差は見られなかった。
- ◆緊急時における学校までの緊急車両進入のし易さについては、両校とも大きな差は見られなかった。

両校に大きな差が見られないため、評価を同等とした。

##### （2）通学に関すること

- ◆小森江西小学校になった場合の最長通学距離は2.8 km、小森江東小学校になった場合は2.1 kmであり、通学距離が短い小森江東小学校の方が負担が少ない。

（参考）現在住んでいる子ども（未就学児含む）の最長距離は、小森江西小学校になった場合は2.8 km、小森江東小学校になった場合は1.7 km。

- ◆通学路における高低差は、両校とも大きな差は見られなかった。

児童の通学のし易さや負担を考慮し、小森江東小学校とした。

### (3) 施設に関すること

- ◆医療的ケア児や障害のある子どもが増加している傾向を考えると、小森江西小学校は教室が不足する可能性がある。
- ◆小森江東小学校は校地が3段にわかれており、スロープがあるが、障害のある子どもや車いすの子どもにとっては不便である。
- ◆小森江西小学校はプールが校舎から離れており、子どもがけが等をした際に対応が遅れる可能性がある。
- ◆改修費用は小森江西小学校よりも小森江東小学校の方が高いが、補助制度等を除いた市の負担額は約2千万円の差であり、他の要素を考慮すると小森江東小学校の方がよい。

転用可能な余裕教室が多いため、小森江東小学校とした。

### (4) 学習に関すること

- ◆両校ともに自然環境が豊かであり、学習に活用できる公共施設等もあり、大きな差は見られなかった。
- ◆校舎内における採光や日照時間については、両校とも大きな差は見られなかった。

両校に大きな差が見られないため、評価を同等とした。

### (5) 防災・安全等に関すること

- ◆安全対策工事を行えば、両校とも本校舎として使用可能である。
- ◆両校とも土砂災害警戒区域にあり、災害時の安全性に大きな差はない。
- ◆専門家や建設コンサルタントは、両校に大きな差は見られないとの見解である。
- ◆専門家の見解と同様に、教育委員会案としても同等と評価したほうがよい。

専門家が同等と評価していることをふまえ、評価を同等とした。